

2022～2023年度入学生 看護学科 カリキュラム・フロー

必修科目：
選択科目：

看護学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1. コミュニケーション力 論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。	[日本語力]	日本語表現法Ⅰ（作文、論文） （1）	日本語表現法Ⅱ（読解、分析） （1）	日本語表現法Ⅲ（発表、討論） （1）					
	[外国語力]	英語Ⅰ（基礎）（1）	英語Ⅱ（応用）（1）	英語Ⅲ（実践）（1）	英語コミュニケーション（1）				
	[自己表現、意見交換、調整力]	フレッシュマンセミナー（1）	プロジェクトスキルⅠ（1）	プロジェクトスキルⅡ（1） 日本語表現法Ⅲ（発表、討論） （1）				チーム医療論（1）	
2. 課題を発見し、問題を解決する力 必要な情報を収集・整理・分析する能力を有し、現代社会のさまざまな課題に柔軟に対応できる。	[数学・自然科学の基礎的な知識と能力]	基礎数学（1）	統計分析法（1）		保健統計学（1）				
		基礎物理学（1）	基礎化学（1）		医療機器論（2）	医療機器論演習（1）			
		基礎生物学（1）							
	[情報リテラシー]	情報処理法（1）			保健統計学（1）	医療情報学（1）			
	[論理的思考力、問題解決力]	生活システム論（1）	日本語表現法Ⅱ（読解、分析） （1） プロジェクトスキルⅠ（1）	データサイエンス（1） プロジェクトスキルⅡ（1）				チーム医療論（1）	
3. 自らを律し、学び続ける力 目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、高度情報化社会及び先進医療を支える知識・技術を自主的・継続的に学習できる。	[自己管理能力、自己実現力]	体育実技Ⅰ（1） フレッシュマンセミナー（1）	体育実技Ⅱ（1）		自己管理と社会規範（1）			看護総合ゼミ（2）	
	[知的好奇心]	フレッシュマンセミナー（1） 生活システム論（1）					看護学研究法（2）	卒業研究（4）	

看護学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
4. 他者と協力して目的を達成する力 文化・社会の多様性を理解できる幅広い教養と豊かな人間性を有し、他分野とも協力して地域社会の発展に貢献できる。	[社会的責任と倫理]				自己管理と社会規範 (1)	看護倫理 (1)	地域活動と社会貢献 (1)		
	[チームワーク、リーダーシップ]	体育実技 I (1)	体育実技 II (1) プロジェクトスキル I (1)	日本語表現法Ⅲ (発表、討論) (1) プロジェクトスキル II (1)		他者理解と信頼関係 (1)		チーム医療論 (1)	
	[人類の文化、社会と自然、多様性の理解]	人間の理解 I (健康と運動) (2) 社会の理解 I (自然と環境) (2)	人間の理解 II (民族と宗教) (2) 社会の理解 II (政治と経済) (2)	人間の理解 III (歴史と文化) (2) 社会の理解 III (国際と平和) (2)	人間の理解 IV (心理と行動) (2) 社会の理解 IV (法律と人権) (2)				

看護学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
5. 専門的知識・技能を習得し、実践する力	看護学の専門的知識や技術を活用できる能力を有し、保健医療福祉に関するさまざまな課題に対し、柔軟かつ迅速に対応できる。	解剖生理学Ⅰ(2)	解剖生理学Ⅱ(2)		生活機能と形態機能学(2)				
		生化学(1)	薬理学(1)		公衆衛生学(2)				
		感染免疫学(1)	病態生理学(2)		保健統計学(1)				
		栄養学(1)	疾病治療Ⅰ(2)		疾病治療Ⅱ(2)	保健医療福祉論(1)			
		看護学概論(2)		データサイエンス(1)		看護倫理(1)			
		看護学基礎技術論(1)	看護過程論(2)	看護過程演習(1)		家族看護論(1)			生活構築論(2)
		看護学基礎技術演習Ⅰ(1)	看護学基礎技術演習Ⅱ(1)	看護学基礎技術演習Ⅲ(1)					
			ヘルスアセスメントⅠ(1)	ヘルスアセスメントⅡ(1)					
		生活システム論(1)			地域・在宅看護学概論(2)				
		医療概論(2)			地域・在宅看護学援助論(1)	地域・在宅看護学援助論演習(1)		地域・在宅看護学援助技術論演習(1)	災害看護(1)
	[専門基礎力]			成人看護学概論(1)					
				成人看護学援助論(1)	成人看護学援助論演習Ⅰ(1)	成人看護学援助技術論演習Ⅰ(1)			終末期看護(1)
				老年看護学概論(1)		成人看護学援助論演習Ⅱ(1)		成人看護学援助技術論演習Ⅱ(1)	
				老年看護学援助論(1)	老年看護学援助論演習(1)	老年看護学援助技術論演習(1)			
				小児看護学概論(1)					
				小児看護学援助論(1)	小児看護学援助論演習(1)	小児看護学援助技術論演習(1)			
				母性看護学概論(1)					
				母性看護学援助論(1)	母性看護学援助論演習(1)	母性看護学援助技術論演習(1)			
				精神看護学概論(1)					
				精神看護学援助論(1)	精神看護学援助論演習(1)	精神看護学援助技術論演習(1)			

看護学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
5. 専門的知識・技能を習得し、実践する力 看護学の専門的知識や技術を活用できる能力を有し、保健医療福祉に関するさまざまな課題に対し、柔軟かつ迅速に対応できる。	[専門応用力]		基礎看護学実習Ⅰ(1)	基礎看護学実習Ⅱ(2)		医療情報学(1)		地域・在宅看護学実習(2)	看護管理(1)
					生活者を知る実習(2)		成人看護学実習Ⅰ(3)	成人看護学実習Ⅱ(4)	国際看護(1)
							老年看護学実習(3)		看護教育の原理(1)
							小児看護学実習(2)		看護教育の方法(1)
							母性看護学実習(2)		
							精神看護学実習(2)		
6. 総合力 修得した基盤能力と看護学の専門的知識・技術を総合的に活用し、地域社会の課題を発見・解決し社会の発展に貢献することができる。					生活者を知る実習(2)			成人看護学実習Ⅱ(4)	
							看護学研究法(2)	卒業研究(4)	
								看護総合ゼミ(2)	
								チーム医療論(1)	